



血液がん より良い治療とより良い治療

日時：2010年10月17日(日) 13時～17時

会場：カレッジプラザ

主催：NPO法人血液情報広場・つばさ

共催：国立大学法人秋田大学、NPO法人日本臨床研究支援ユニット(J-CRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、秋田県骨髄提供者を募る会、NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会

参加費 1人1,000円
※参加の事前申し込みは要りません

座長 秋田大学医学部 血液内科 澤田 賢一 先生

全体会 13時～16時

総合同会 NPO法人血液情報広場・つばさ 代表 橋本 明子

1 血液と血液がん

疾病の基本概念と血液がん治療の現状

血液内科 澤田 賢一 先生

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、等の造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことと、自身の疾患の理解を深めます。
また、標準治療の「標準」の意味を把握します。とても気になる言葉「治験」ですが、それは「最前線の治療」という意味でしょうか？
いま治療中の患者さんにとっての標準治療と治験の関係をどう考えれば良いのでしょうか。

2 血液がんの治療

1) 薬物療法の基本理解

腫瘍情報センター 廣川 誠 先生

血液がんでも疾患によっては診断直後に抗がん剤治療 (total cell kill) が必須となります。必要な化学療法の作用、効果、長く残りがちな副作用や緩和策など、化学療法の基本を学びます。

2) 分子標的薬の基本理解

血液内科 高橋 直人 先生

分子標的療法は血液がん治療の到達点でしょうか？どのような仕組みで効くのか、これによってどこまで治ったといえるのか、現状と今後の展望について。

3) 移植療法の基本理解

輸血部 藤島 直仁 先生

近年は移植年齢が徐々に高齢化していることもあり、薬で寛解を維持していても時に移植が治療選択に加わる可能性もあります。同種移植 (きょうだい等血縁ドナー、骨髄バンクやさい帯血バンクからの非血縁ドナー) で移植療法を理解し、またフル移植とミニ移植の違いを把握し、「移植適応」のタイミングについて考えます。

3 暮らしと血液がん治療の副作用

座長 血液内科病棟 看護師長 佐々木 典子 さん

1) 血液病棟のナースから：清潔ケアについて

血液内科病棟 畠山 陽 さん

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの重篤な合併症をより少なくして、快適な闘病生活をおくるために、手洗い・口腔ケアなどの予防や清潔のたいせつさを繰り返し認識しましょう。

2) 外来化学療法室のナースから：外来化学療法の実際と看護

外来化学療法室 進藤 菜穂美 さん

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中 (自宅の問題が起きた場合も含めて) のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

3) 治療とうつ～専門医の上手な受診

精神科 武村 史 先生

より良いがん治療とより良い闘病生活のために、がん治療とこころについて考えましょう。
～がん治療によってうつは増える？ うつが疑われた場合、最初にするとは何か。

疾患別分科会 16:00～17:00

各分科会同時進行

◎急性白血病

講師 藤島 直仁 先生 司会 佐藤 恒 さん

◎悪性リンパ腫

講師 血液内科 亀岡 吉弘 先生 司会 松原 良昌 さん

◎慢性骨髄性白血病

講師 高橋 直人 先生 司会 川俣 哲也 さん

◎多発性骨髄腫

講師 澤田 賢一 先生 司会 山本 真理子 さん

◎骨髄異形成症候群

講師 廣川 誠 先生 司会 星崎 達雄 さん

◎小児科 「小児ALL治療プロトコルの最前線について」

講師 中通総合病院小児科 渡辺 新 先生 司会 金 陽子 さん



ノバルティスファーマ株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムRIファーマ株式会社

※協和発酵キリン株式会社、株式会社ヤクルト本社より、飲料が提供されます。

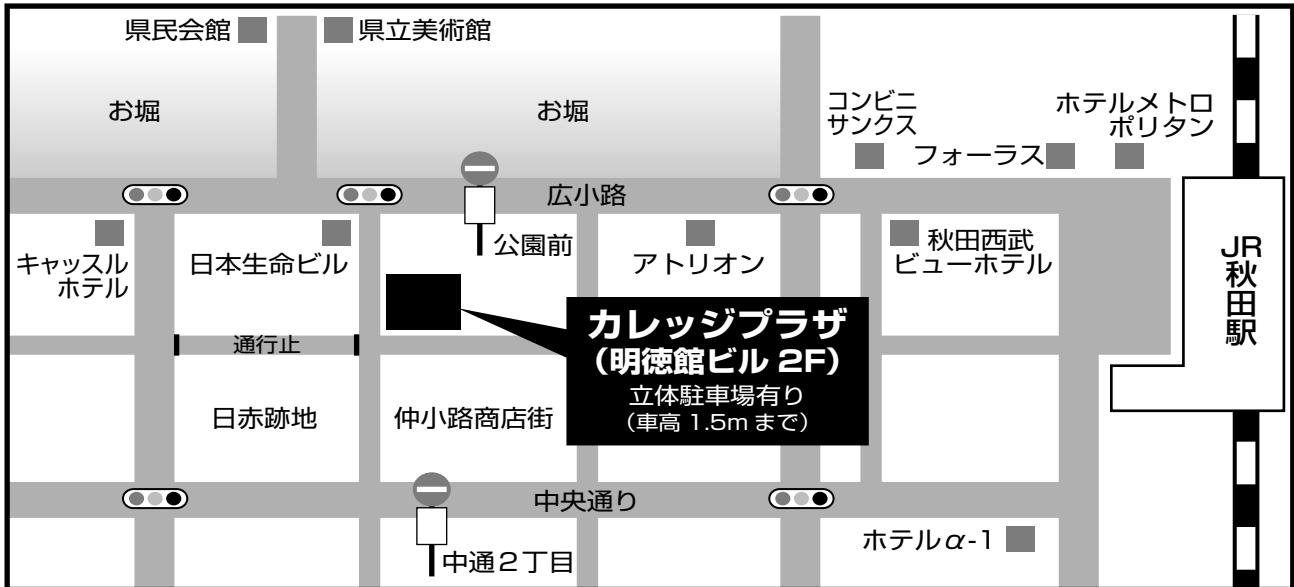
血液がん治療に関する個別相談会 (全体会進行中、別室で)、あります。要・事前申込み 担当はJ-CRSU・がん電話情報センター 詳細は裏面に

問い合わせ/NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

会場案内図／カレッジプラザ

住所：秋田市中通 2丁目 1-51 明德館ビル2階

TEL：018-825-5455



個別相談 申し込み方法

※フォーラムのみへの参加申込は不要です

A4 以下の紙 1 枚につきのことを書いて、

10月13日(水)までにFAXで03-5842-3438にお送りください。

①お名前 (相談に来る人)

②病名

③患者さんの年齢

④連絡先のお電話番号・FAX

⑤現在受診中の病院名 (10月17日の対応医師を決める際の情報とします。もし、フォーラム講師のなかに、現在の主治医がいるかどうかかわかっておられましたら「〇〇先生が主治医」と明記してください)

※ 但し、相談対応医師の指名はできません (講演時間との兼ね合い等の諸事情のため)。

※ お申込み、お話 (ご相談) 内容等の秘密は厳守されます。ご安心ください。

※ このFAXには、ご相談内容は書かないでください。

※ なお、いただいた情報は、個別相談の運営以外には使用しません。

相談時間は一組15分程度です。別室を設け、主に講師でおいでいただく血液専門医にご相談を受けていただきます (がん電話情報センター相談員が立ち会います)。

なるべくご希望に添うよう調整いたしますが、お申込多数の場合にはお受けできないことがありますのでご了承ください。相談受付の可否は追ってご連絡します (お申し込み直後、というわけではありませんので、ご了承ください)。なお、分科会でも匿名の質問票を用いて講師の先生に回答いただく時間がありますので、そちらもご利用ください。

個別相談お問い合わせ先

がん電話情報センター (NPO 日本臨床研究支援ユニット内) 個別相談会受付係：03-5684-2357

広報にご協力いただき、ありがとうございます。

- ・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット (J-CRSU) <http://www.crsu.org/>
- ・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会 <http://www.flrf.gr.jp/>
- ・ 秋田県骨髄提供者を募る会 <http://www.marow.or.jp/akita/>
- ・ NPO 法人全国骨髄バンク推進連絡協議会 <http://www.marow.or.jp/>
- ・ 慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族の会「いずみの会」 <http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/>
- ・ 日本骨髄腫患者の会 <http://www.myeloma.gr.jp/>
- ・ MDS (骨髄異形成症候群) 連絡会 <http://www.geocities.jp/mdsrenraku/>
- ・ NPO 法人ライフボート <http://www.lifeboat-jp.net/>